

## 体育科・保健体育科における学び続ける子ども像

体育科ならびに保健体育科において、学び続ける子ども像というのは、一体どういったものであろうか。それは、学習指導要領にあるように「生涯にわたって運動に親しむことができる」ということがあげられるのではないだろうか。では、そのためには、どのような力を育てていくことが必要なのであろうか。体育科、保健体育科の体育分野の場合、どうしても「できる」という面にのみ目が向けられがちである。しかしながら、学び続ける子どもを育成していくためには、「できる」を支える「わかる」ということに目を向けていくことが重要である。技のポイントやコツを「わかる」ことによって、「できる」ということにつながっていく。また、今はできなくても「できそうな気がする」というように児童・生徒に運動に対する意欲を持たせることができる。さらに、「わかる」ことで、他の児童・生徒にポイントやコツを伝え合ったり教え合ったりする「かかわり合う」ことが成立するのである。「わかる」ということを通して「かかわり合う」ことや「できる」ということを積み重ねていくことが、運動を好きになったり運動に親しんだりすることにつながっていく。

今年度の授業研究の過程で、「問いを持ち、高めていく学び合い」をどのような子ども達の姿に具体化するかということに着目した。学び合う子ども達の姿の中核となるのは、「技能構造を追求し、考えている姿」と「自分や仲間の姿を観察し、思ったことを言葉や身体を使って伝える姿」である。

そこで、今年度実施された研究授業の様相から、本学校園体育科・保健体育科がめざす「問いを持ち、高めていく学び合い」の姿の具体像を見出すことを試みた。表はそれらの事例の一部である。

学年・単元	技能構造を追求し、考えている姿	自分や仲間の姿を観察し、思ったことを言葉や身体を使って伝える姿
小5・タグラグビー	どんな場面で空きスペースができるかに気づき、得点につなげるためにどんな動きが必要かを考えている姿。	ゲームの映像から、どのようなチームメイト間の動きによって相手のいないスペースが作られるかをみつけ、学級全体に対して発言する姿。
小6・シンクロマット	反対の動きを取り入れながら、技の組み合わせや動く方向を考えている姿。	グループで話し合いながら構成図を作成し空間への人の配置を可視化したり、きょうだいチームで作品を見合って効果的な動きの構成を見つけコメントし合う姿。
中1・ハードル走	リズムカルな走りや滑らかなハードリングとは、どの部位をどのように動かしていることなのかを見出そうとする姿。	フォームの映像から、理想的なフォームと自分や仲間のフォームとの相違を見出し、どの部位をどのように動かしたらよいかを互いにアドバイスし合う姿。
中2・ソフトボール	守備をくずすためには、どこにどのようにどんな打球を打てばよいかを考える姿。	グループで作戦ボードを用いて守備がない空間をみつけたり、そこに打つためにはどんなふうに体やバットを向けて打球をコントロールしたらよいかを話し合う姿。

ハードル走の授業では効果的なフォームの習得に向けて、シンクロマットの授業では運動の効果的な構成に向けて、タグラグビーの授業とソフトボールの授業では対戦相手の予想される動きへの効果的な対応に向けて、子ども達は「どうしたらうまくいくだろう」という問いを持ち、その答えを見つけ出そうとしていた。各授業において、領域特有の技能構造をどのように抽出し、子ども達の追求の対象とするかが、教材研究の出発地点となり、めあての設定の根拠となっていたといえる。

一方、領域は異なっても、視覚的な理解と運動感覚的な理解の間の往還により、課題解決の糸口すなわち問いに対する答えーを見つけようとする手法は共通している。その手立てをどのように設定するかが、各授業研究の視点となっていたといえる。タグラグビーの授業やハードル走の授業では映像を用いて、シンクロマットの授業やソフトボールの授業では構成図や作戦ボードを用いて、子ども達は自分や仲間の現在の姿を視覚的に理解し、課題解決のための仮説を導き出していた。そして、子ども達は自らの運動感覚を確かめながら動いたり内省したりすることによって、自らが導き出した仮説を検証しようとしていた。それらの仮説の生成から検証に至る過程を、体育ノートに表したり学級全体で共有したりする活動も、領域を超えて共通する手法である。

次年度以降は、「視覚的な理解と運動感覚的な理解の間の往還による学習方法の設定」を教科の共通の基盤としつつ、「領域に特有の技能構造の抽出によるめあての設定」から導かれる授業方法と授業過程の研究を、今年度の成果の上に積み上げていくこととなる。と考える。

(共同研究者：初等教育開発講座、廣兼 志保、健康・スポーツ教育講座、西村 覚、久保 研二)